

食品・水・土壌環境の放射能測定サービス

放射能測定

測定対象

食品・水・土壌などの放射能(放射性物質が放射線を出す能力)を測定

厚生労働省の「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」-「ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法」に準じた測定が可能です。

適用例

- ・食品の放射能を測定する。例:牛乳・乳製品、野菜類、穀類、肉、卵、魚、海藻など
- ・畑などからの土の放射能を測定する。
- ・海水・水道水などの放射能を測定する。

測定結果例



測定試料における放射性ヨウ素¹³¹I、放射性セシウム¹³⁴Cs、¹³⁷Csの放射能(測定単位: Bq/kgもしくはBq/L)を報告します。

測定機器

ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリー
 検出器部 : オルテック GEM20-70
 多重波高分析部 : セイコー・イージーアンドジー MCA7600



納期

原則として、検体を受領した日から1週間程度で結果報告書を提出致します。

費用

測定費用 ¥8,000(税別)~/検体
 前処理が必要な試料の場合は別途費用をご負担頂きます。
 測定員による試料採取等が必要な場合、別途費用をご負担頂きます。

注意事項

- ・測定に必要な試料の量の目安は水の場合2L、野菜類は1kgです。
- ・簡易測定により、放射能が高いことが明らかになった試料については、別途ご相談させて頂きます。
- ・前処理が困難な試料の場合、別途ご相談させて頂きます。

分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート!